

インボイス発行事業者になったら買手としてやること

自分（お店）がハチからハチミツを仕入れた場合



- インボイスをもらう
クレジットカード会社が交付する請求明細書等はインボイスではない
必ず利用明細か領収書をもらう
- 相手方がインボイスの登録事業者かどうかの確認
- インボイスの記載事項に不備がないかを確認
- インボイスを保存（所得税法では5年、消費税法では7年、法人税法では最長10年）
- 相手がインボイスの登録事業者でない場合の対策を考える

インボイス発行事業者になったら買手としてやること

相手が登録事業者かどうか確認

- 国税庁の「適格請求書発行事業者公表サイト」で登録番号を入力して確認する

登録番号

T 1234567890123 0桁

登録番号でまとめて検索する +

検索

相手が登録事業者かどうか確認

エラー情報



メッセージ

- 検索対象の登録番号は存在しません。内容をお確かめのうえ、入力してください。

- 登録の表示がされない場合は、相手方に確認
⇒ 登録のタイミングによっては、表示されない場合がある

インボイス発行事業者になったら買手としてやること

請求書

△△商事(株)
登録番号 T 012345...

⑥ (株)〇〇御中

11月分 131,200円

① ××年11月30日

日付	品名	金額
11/1	魚 *	5,000円
11/1	豚肉 *	10,000円
② 11/2	タオルセット	③ 2,000円
⋮	⋮	⋮
合計	120,000円	消費税 11,200円
8%対象	40,000円	消費税 3,200円
10%対象	80,000円	消費税 8,000円

④

⑤

③ * 軽減税率対象

- ① 適格請求書発行事業者の氏名又は名称及び登録番号
- ② 取引年月日
- ③ 取引内容（軽減税率の対象品目である旨）
- ④ 税率ごとに区分して合計した対価の額（税抜又は税込）及び適用税率
- ⑤ 税率ごとに区分した消費税額等
- ⑥ 書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称

※消費税の端数処理は、項目ごとではなく合計時に行う

不備がある場合は



相手方に連絡し、修正インボイスを発行してもらう

インボイス発行事業者になったら買手としてやること

次のものについては、インボイスがなくてもOK

- 3万円未満の公共交通機関による旅客の運送（バスなど）
- 3万円未満の自販機での購入（飲料など）
- 従業員等に支給する出張旅費、宿泊費、日当、通勤手当 など

ただし



帳簿に一定事項を記載する必要がある

- 自動販売機でジュースを買った場合、販売者や住所を記載する必要がある
- 手間を考えるとお店で買うのが望ましい

自分が免税事業者から商品を仕入れた場合



- インボイスがない場合は差引計算（仕入税額控除）ができない
- ただし、経過措置あり（開始後3年間は8割、次の3年間は5割引ける）

例）1,100円（内消費税相当額が100円の場合）

1年目～3年目

100円×8割＝80円だけ差引計算（仕入税額控除）をすることができる

4年目～6年目

100円×5割＝50円だけ差引計算（仕入税額控除）をすることができる

相手が免税事業者を継続するケース



- インボイス登録事業者になるかどうかを確認する
- 経過措置を考慮したうえで価格交渉を行う



下請法及び建設業法等で定められている優越的地位の濫用と捉えられないように注意する必要がある